

新しい幸せを、わかすこと。



第71期 株主通信

2020年1月1日～2020年12月31日

ノーリツは環境省が認証した
エコ・ファースト企業です。

株主の皆さまへ

To Our Shareholders



代表取締役社長 腹巻 知

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された方、不安で辛い日々を過ごされているすべての皆さまに心からお見舞い申し上げます。また、感染拡大防止にご尽力されている皆さまには深く感謝申し上げます。

2020年12月期(第71期)連結決算概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業活動の停滞や雇用情勢悪化など経済情勢の先行きは予断を許さない厳しい状況となりました。また海外経済においても、新型コロナウイルス感染が世界中で急速に拡大したことによる経済活動の制限で、前例のない厳しい状況

となりました。国内住宅関連業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年を下回り、取り替え需要が減少したことで厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染拡大による経済活動の制約に対処しつつ、国内外共に今後の飛躍に向けた構造改革フェーズとして、収益構造と事業モデルの変革により企業価値向上につなげる取り組みを進めました。特に国内事業では、不採算分野である住設システム分野からの撤退と、ノーリツ単体における希望退職を断行し、固定費・変動費の削減に取り組んだことで、損益分岐点売上高を引き下げました。

この結果、当連結会計年度の売上高は1,838億59百万円（前年同期比11.8%減）となりました。利益面につきましては、営業利益が47億63百万円（同76.8%増）、経常利益が59億25百万円（同72.4%増）となりました。親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、30億13百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益15億12百万円）となりました。

当連結会計年度を最終年度とした中期経営計画『Vプラン20』は、国内においては想定を上回る需要の減少と、海外においては中国エリア情勢の変化への対応が遅れたことにより、目標を達成するに至りませんでした。しかしながら事業ポートフォリオの再編と収益力強化の取り組みによる基盤構築を行ったことで、新中期経営計画『Vプラン23』に繋がる良化の兆候が顕在化しております。

セグメント別の結果

国内事業

当連結会計年度の国内事業セグメントは、売上高が1,400億27百万円（前年同期比10.4%減）、セグメント利益が43億85

百万円（同83.0%増）となりました。

温水空調分野では、新設住宅需要、取替需要ともに前年を下回る中、「見まもり」[除菌]機能を備えたガスふろ給湯器「GT-C62シリーズ」を、またガス温水暖房付きふろ給湯器におきましては、浴室暖房乾燥機との連動によって「見まもり」機能をさらに強化した「GTH-C61シリーズ」を中心に高効率ガス給湯器「エコジョーズ」の販売を促進しました。

厨房分野では、中級グレードの「ピアット」と、自動でグリル調理が可能なマルチグリルに燻製や低温調理の機能を追加し、専用のスマートフォンアプリとの連携が可能となった高級グレードの新製品「プログレシリーズ」の販売に注力しました。また、グリル料理の楽しさを広めるレシピサイト「毎日グリル部」の運営とあわせ、ガスビルトインコンロの拡販に努めました。

住設システム分野の事業撤退等による売上高減少に加え、コロナ禍の影響による経済活動制限がありました。国内事業全体で経費削減が想定以上に進んだことと共に構造改革を推進した結果、減収増益となりました。

海外事業

当連結会計年度の海外事業セグメントは、売上高が538億56百万円（前年同期比12.7%減）、セグメント利益が3億78百万円（同27.3%増）となりました。

中国エリアにおいては、新型コロナウイルス感染拡大が事業活動全体に多大な影響を与えましたが、第2四半期連結会計期間以降、構造改革による固定費削減やネット向け給湯器の販売等により業績は急回復しました。北米エリアにおいては、NORITZ AMERICA CORPORATION、2019年から新規連結したボイラーメーカーPB Heat, LLCおよびFacilities Resource Group LLCの3社がそれぞれで商品・エリア・流通を補完しながら業務用給湯器・瞬間式給湯器・暖房商品等の拡販に努めました。豪州エリアは、原価改善等により堅調に推移し、香港は

政治経済情勢が厳しい中でも業績を確保しましたが、海外事業全体では減収増益となりました。

2021年12月期(第72期)通期業績見通し

世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大によるマイナス成長から緩やかな回復基調にあるものの、依然、見通しは不確実な状況が続く、わが国経済も新型コロナウイルス感染の再拡大の懸念から先行きが見通せない状況が継続するものと思われます。また個人消費も、下押し圧力が続く状況が予測されます。国内住宅関連市場においては、人口減少に伴う総世帯数の減少などにより、総じて緩やかな減退が予想され、厳しい環境が継続すると想定されます。

このような環境下において当社グループは、縮小する市場に対応可能な収益基盤の構築や、社会課題解決に向けた取り組みなどを強化し、コロナ禍による事業環境の変化に対応してまいります。国内事業においては、業界で取り組む長期使用製品安全点検制度を推進し、長期使用製品の安全を確保するとともに、入浴事故軽減をサポートする「見まもり」機能、コロナ禍の衛生ニーズに対応する「除菌」機能搭載の給湯器、調理を簡単・便利にする「マルチグリル」搭載コンロ、環境負荷低減に寄与する「ハイブリッド給湯器」およびIoT・AIなどのデジタル技術活用によって、新たな価値を提供してまいります。

海外事業においては、長期化する米中貿易摩擦によって市況停滞が続く中国エリアの高収益体質への変革を進めると共に、北米、豪州エリアでは事業領域を広げ、環境・省エネ性に優れたタンクレス給湯器や暖房・業務用機器の商材拡大を図ることにより成長してまいります。



詳細は当社ホームページに掲載されている「株主・投資家向け情報」をご覧ください。



<https://www.noritz.co.jp/company/ir/>

第72期（2021年12月期）連結業績予想

売上高

180,000百万円

前年同期比

2.1%減



営業利益

5,000百万円

前年同期比

5.0%増



経常利益

5,500百万円

前年同期比

7.2%減



親会社株主に帰属する
当期純利益

5,800百万円

—

新中期経営計画 (2021年度~2023年度) 『Vプラン23』

当社グループは、2023年度を最終年度とした新中期経営計画『Vプラン23』を新たに策定し、厳しい競争環境の中でも健全に存続・成長できる企業であり続けるために、2023年度に売上高1,920億円、営業利益80億円、ROE5.0%以上を目標として推進してまいります。

事業環境 新型コロナウイルス・脱炭素政策による影響で事業環境が変化

Concept
常識を変える
経営資源を組み直す
無から有を産む

	環境変化	戦略テーマ
経済	7割経済の常態化	7割経済に耐えうる経営基盤の構築
消費	消費ニーズの変化(シェアリング業ごもり)	お客さまへの価値伝達強化
社会	脱炭素に向けた取り組み加速	ESG経営のプレゼンス向上
	企業の安全信頼に対する関心向上	
技術	デジタル化加速によるDX進展	コミュニケーションのデジタル化

With コロナにあたり求められる経営課題

- ・ 縮小する市場に対応可能な収益基盤の構築
- ・ 対面だけに頼らない顧客への価値伝達
- ・ 社会課題解決に向けた取り組み強化
- ・ DX推進によるビジネスモデル変革

新中期経営計画『Vプラン23』全体像

Mission	新しい幸せを、わかすこと。
目指す姿	選ばれつづけるノーリツグループ
基本方針	持続可能な事業基盤の確立
	つぎも選ばれる仕掛けの創出
	挑戦しつづける組織への変革
社会的責任	Q(品質)+ESGに基づいた企業活動

2023年度 計画

売上高 1,920 億円	営業利益 80 億円	ROE 5.0 %以上
---------------------	-------------------	--------------------

重点施策

持続可能な事業基盤の確立	つぎも選ばれる仕掛けの創出	挑戦しつづける組織への変革
1. 国内事業は高収益体質へ進化 2. 海外事業は持続的成長	1. 新技術・ビジネスモデル・新事業の創出 2. 環境への貢献 3. 品質の継続的な向上	1. 成長するチームの形成 2. 高い成果を出せる人材の輩出

01 コロナ禍の中、“除菌機能”搭載のガスふろ給湯器「GT-C62」が好評

当社は2017年、業界で初めてお風呂のお湯を除菌する「UV除菌ユニット」を搭載した高効率ガスふろ給湯器「GT-C62シリーズ」を発売しました。99.9%の除菌性能を実現し、キレイなお湯で気持ちよく入浴できます。コロナ禍の衛生ニーズの高まりから好評を得、当機能を持つフルオートタイプ（プレミアム）の販売台数は前年比で約2倍になりました。

※「UV除菌ユニット」は除菌するものであり、汚れを落とすものではありません。また、全ての菌に作用するものではありません。



02 中国エリアで能率中国の設計・生産による即出湯機能付きガス給湯器を発売

中国エリアにおいて、蛇口をひねるとすぐにお湯が出る「即出湯」のニーズが高まる中、即出湯機能付きガス給湯器「Sシリーズ」を2020年9月に発売しました。リアル店向けに用意した普及価格帯の給湯器で、給湯能力は16号と13号の2タイプ。同時に即出湯機能なしのタイプも揃え、選択肢を広げました。現地の能率（中国）投資有限公司が品質・コストに徹底的にこだわりながら、自社設計・自社生産した製品です。今後も中国においては、給湯器のラインアップを拡充・強化してまいります。



03 ガスファンヒーターが、2020年度 グッドデザイン賞を受賞

2020年8月に発売したガスファンヒーター「GFH-4006D」が、2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。

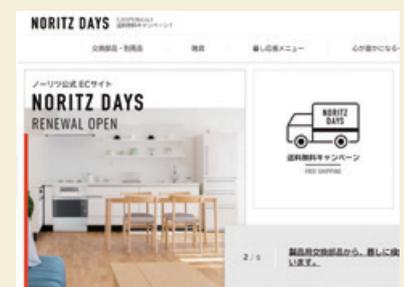
ボディにヘアラインステンレスを採用し、周囲が映り込むことで住空間に馴染みながらも上品な存在感のあるデザインです。操作面は薄いブラックパネルにボタン、LEDを整然と配置、操作時の視認性と遠景でのシンプルさを両立しました。ガスファンヒーター初の人感センサーを搭載し、人の動きを検知して無駄な運転を抑えます。



04 ECサイトがお客さまの大切な日常に寄り添う『NORITZ DAYS』としてリニューアル

従来のECサイトは交換部品の販売が中心でしたが、販売品目を拡大してデザインを一新。新ECサイト『NORITZ DAYS（ノーリツデイズ）』を2020年9月に開設しました。

ハウスクリーニングなど生活に密着したサービスを展開する「暮らし応援メニュー」のほか、入浴時間や料理時間を充実させる「生活雑貨」の情報や商品販売が加わり、日常生活に役立つサイトとしてリニューアルいたしました。



NORITZ DAYS トップページ <https://days.noritz.co.jp>



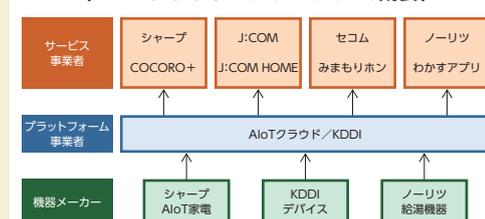
05 経済産業省「LIFE UP プロモーション」に「AIoTクラウドコンソーシアム」として6社で参画

当社および株式会社AIoTクラウド、株式会社ジュピターテレコム（J:COM）、KDDI株式会社、セコム株式会社、シャープ株式会社との6社で構成する「AIoTクラウドコンソーシアム」は、経済産業省が推進するプロジェクト「LIFE UP プロモーション」の対象コンソーシアムとして2020年7月29日に交付決定通知を受け、本プロモーションに参画しました。

異業種企業間でIoT技術を連携することで、生活データを活用した新たな高付加価値サービスのビジネスを展開します。当該サービスを一定期間利用いただいたお客さまに各社それぞれのインセンティブを提供し、利用の促進を図ることで「スマートライフ」の早期実現を目指します。

ノーリツでは、スマートフォン用の「わかすアプリ」を使って給湯器からの情報を確認でき、お湯はりなどの操作ができます。また、シャープスマートライフアプリ「COCORO HOME」とも連携し、「COCORO HOME」を通じて給湯器の操作ができます。

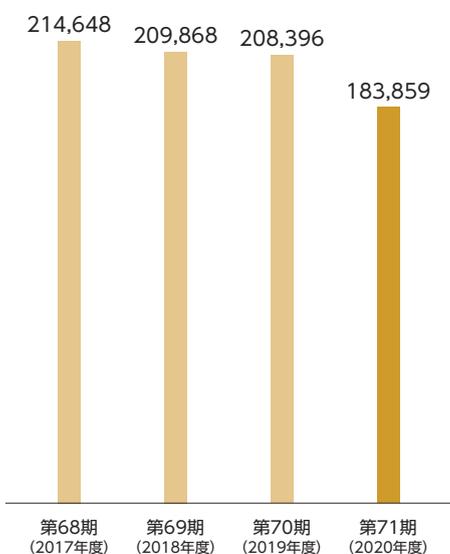
＜AIoTクラウドコンソーシアム概要＞



わかすアプリ

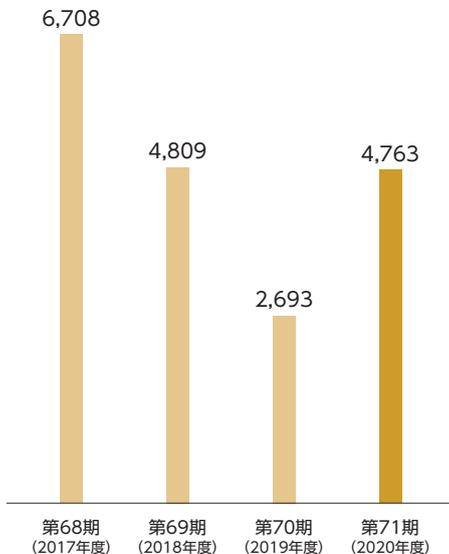
売上高

(単位：百万円)



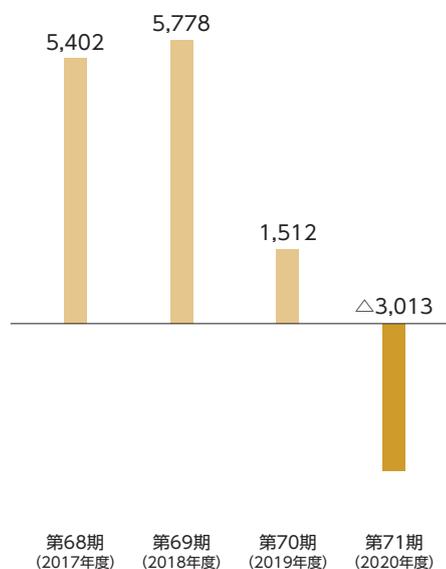
営業利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益または当期純損失

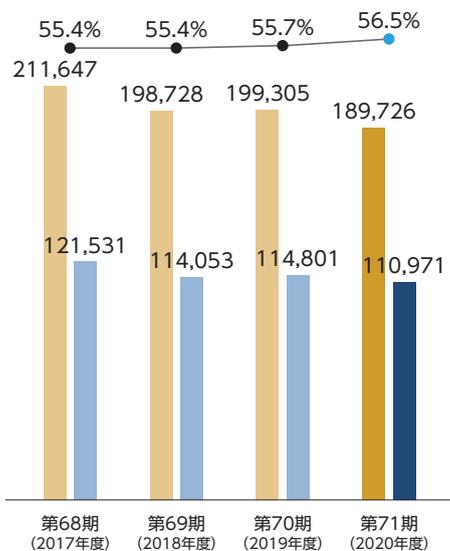
(単位：百万円)



総資産・純資産・自己資本比率

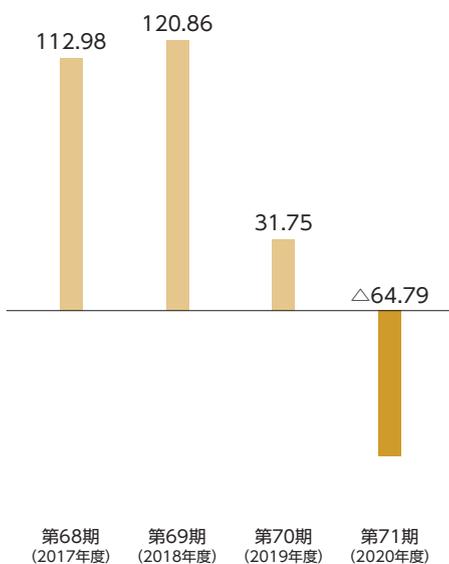
■ 総資産 ■ 純資産 (単位：百万円)

● 自己資本比率



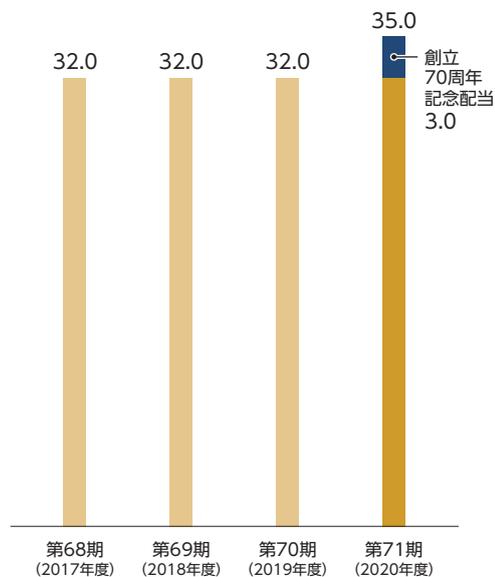
1株当たり当期純利益または当期純損失

(単位：円)

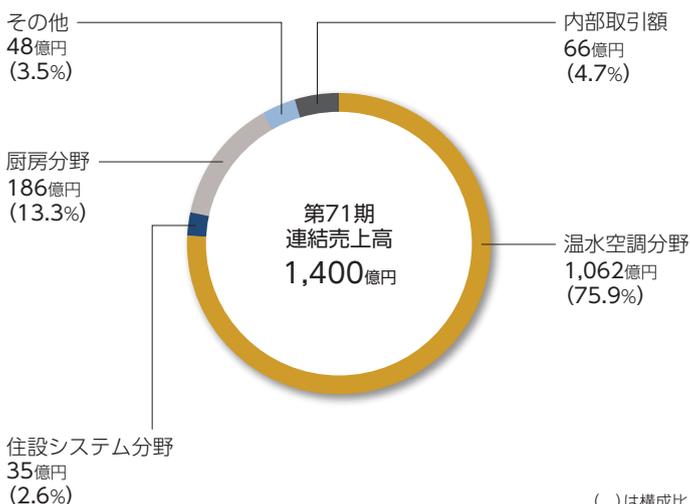


1株当たり配当金 (年間)

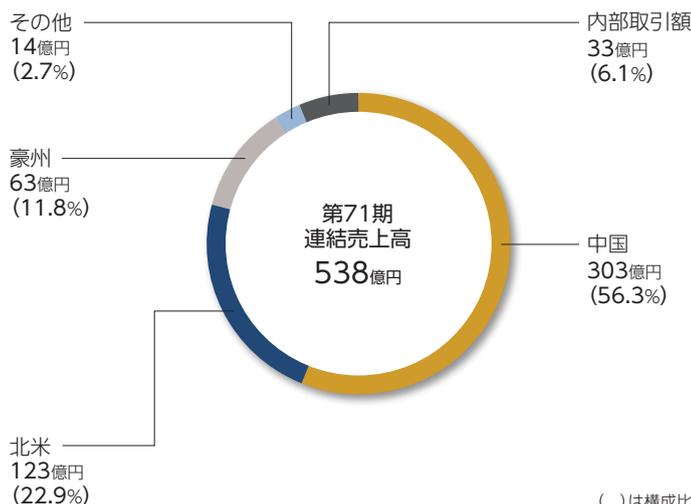
(単位：円)



国内事業の分野別売上高構成比



海外事業のエリア別売上高構成比



()は構成比

()は構成比

会社データ

商号 株式会社ノーリツ
 英文名 NORITZ CORPORATION
 本社所在地 神戸市中央区江戸町93番地
 設立 1951年3月10日
 資本金 20,167百万円
 従業員数 2,225名(単体)
 (2020年12月31日現在)
 営業品目 ガス温水機器、石油温水機器、温水
 暖房システム、空調機器、ガスファン
 ヒーター、産業用太陽光発電シ
 ステム、太陽熱温水器、厨房機器、業
 務用浴室設備機器など

取締役および執行役員

代表取締役会長 國井 総一郎
 代表取締役社長 腹巻 知
 取締役兼専務執行役員 廣澤 正峰
 取締役兼常務執行役員 竹中 昌之
 取締役兼常務執行役員 廣岡 一志
 取締役(社外) 高橋 秀明
 取締役(監査等委員) 綾部 剛
 取締役(監査等委員)(社外) 小川 泰彦
 取締役(監査等委員)(社外) 正木 靖子

常務執行役員 久保田 典男
 常務執行役員 東内 雅典
 常務執行役員 久内 雅志
 常務執行役員 井上 隆史
 常務執行役員 池田 英礼
 執行役員 瓜生 尚志
 執行役員 楠 克博
 執行役員 内田 知浩
 執行役員 滝居 和弘
 執行役員 吉田 猛志
 執行役員 吉本 厚志
 執行役員 蒔田 潤也
 執行役員 森 脇 琢

株式の状況

Stock Information

(2020年12月31日現在)

発行可能株式総数156,369,000株
 発行済株式の総数 50,797,651株
 株主数 7,059名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,678,000	5.82
第一生命保険株式会社	2,303,100	5.00
株式会社三井住友銀行	2,199,695	4.78
ノーリツ取引先持株会	1,931,609	4.20
株式会社長府製作所	1,520,000	3.30
KSD-KB	1,437,600	3.12
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,346,600	2.92
ノーリツ得意先持株会	1,307,100	2.84
日本電気硝子株式会社	1,119,300	2.43
ノーリツ従業員持株会	1,118,315	2.43

(注1)当社は自己株式4,814,877株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
 (注2)持株比率は、自己株式4,814,877株を控除して計算しております。

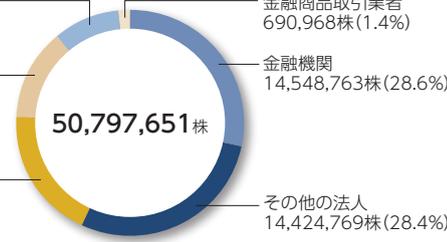
所有者別株主分布状況

外国法人等 161名(2.3%)
 金融機関 33名(0.5%)
 金融商品取引業者 29名(0.4%)
 自己株式 1名(0.0%)
 その他の法人 207名(2.9%)



所有者別株式分布状況

自己株式 4,814,877株(9.5%)
 外国法人等 6,641,007株(13.1%)
 金融商品取引業者 690,968株(1.4%)
 金融機関 14,548,763株(28.6%)
 個人・その他 9,677,267株(19.0%)
 その他の法人 14,424,769株(28.4%)



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
上場証券取引所	東証第1部
公告方法	電子公告 <電子公告掲載ホームページアドレス> https://www.noritz.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によ って電子公告ができない場合は、日本経 済新聞に掲載して公告を行います)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社

三菱UFJ信託銀行株式会社
 大阪証券代行部
 〒541-8502
 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

製品に関するお問合せ先
 ノーリツコンタクトセンター 0120-911-026
 (平日:9:00～18:00、土日祝:9:00～17:00)
 (携帯電話から 0570-064-910)

